

11月食品値上げ131品 前年比9割減

帝国データバンクは31日、11月の食品値上げが前年同月と比べ約9割減の131品目にとどまるとの調査結果を発表した。調査を始めた2022年1

月以降で単月としては過去最少となる。原材料価格の高騰が落ち着いたことや、消費者の買い控えが背景にある。23年の年間累計は既に前年を超えたが、8

月以降は4カ月連続で前年同月を下回っており、足元では勢いが鈍化している。

11月の値上げは昨年は1583品目だったが、大幅に減少した。分野別では「酒類・飲料」が76品目と最多で、「調味料」が32品

目、「菓子」が18品目と続

いた。調査担当者は原材料価格の動向に加え、電気・ガス代などのエネルギーコストが想定より安かったと指摘。ただ一方で「今後も人手不足による物流費の上昇や賃上げに対応した値上げが断続的に続く」と予想

した。

12月は現状では600品目強となる見込みで、23年の年間累計は3万2千品目を超えそうだ。2-7月に値上げラッシュが続いた影響で、22年の2万5768品目より大幅な増加となる見通し。